

1 日時 令和元年11月6日(水) 第5校時

2 単元名 IZUMI 自動車設立～企画書を提案しよう! 「自動車をつくる工業」

3 単元目標

- 我が国の自動車工業に関心をもち、自動車工業に関わる人々の工夫や努力について主体的に調べたり、考えたりしようとする。(関心・意欲・態度)
- 自動車工業に関わる人々が、優れた製品を生産するためにどのような工夫や努力をしているのかを考えたり、その工夫や努力と消費者のニーズや社会の変化、環境への配慮を関連付けて考えたりし、企画書に表現することができる。(思考・判断・表現)
- 自動車工業に関わる人々の様々な工夫や努力について、文章、写真、地図、統計などの資料を活用し、必要な情報を適切に読み取って付箋に書き出したり、分かったことを基にまとめたりすることができる。(技能)
- 自動車工業には多くの人々が関わり、消費者の多様なニーズに応えたり社会の変化や環境に配慮したりしながら工夫や努力を重ねていることを理解することができる。(知識・理解)

4 豊かな学びと心をはぐくむために

(1) 児童の実態

本学級の児童は、これまでの学習を通して、国土や食料生産について関心や理解を深めてきた。調べたことをノートに書いたり、グループで友達に伝えたりすることは意欲的にできる児童が多い。しかし、課題に対する自分の意見をまとめたり、提案したりするなどの思考を伴う活動には苦手意識をもつ児童が多い。

(2) 単元構想

本単元は、新学習指導要領5年(3)アの(イ)やイの(イ)をもとに設定した。自動車工業に関わる人々の工夫や努力を学習したり、自動車づくりの工程を見学したりする活動などを通して、工業生産には多くの人々が関わり、消費者の多様なニーズに応えたり、社会の変化や環境に配慮したりしながら優れた製品を生産していることを理解することをねらいとしている。

自動車は、児童にとっても身近な工業製品であり、日本を代表する工業であるため興味関心を喚起できると考えられる。本単元では、児童が自動車会社「IZUMI 自動車」の社員の立場として、学習を進めていく。最終的により売れる自動車の企画書を作り、提案するという目標を設定した。その目標に向けての過程で、自動車工業に関わる人々の工夫や努力、社会の変化や環境への配慮、消費者のニーズとの関連について考えることができるようにしたい。そのために、日本製の自動車の国内外における生産・販売台数や売上金額などの資料を提示したり、単元を通して「日本車魅力ワークシート」を活用し、自動車をたくさん生産、販売するための工夫をまとめたりする。これらの活動を通して、自分と友達の意見を比べながら、課題に対する答えを導き出したり、学習したことを基に自分のアイデアを提案したりする力を身に付けさせたい。

資料を読み取ったり、自分の考えをまとめたりすることが苦手な〇〇児には、付箋に書き出すときには一緒に考えたり、穴埋め式のワークシートを用意したりして、思考できるように支援する。

(3) 社会科研究部研究の観点から

ア 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善

(ア) 主体的な学びにつながる振り返り

単元を通して「日本車魅力ワークシート」を活用し、日本の自動車の魅力をまとめながら学習を進めていく。また、単元の終末の企画書づくりに生かすことで、主体的な学びにつな

がると考える。

(イ) グループでの対話を通じた関わり合い

自分の意見を伝えたり、友達の意見を参考にしたりすることで学びが深まると考える。単元を通して、話し合い活動を取り入れる。自分の主張の仕方を例示したり、具体的な資料を示したり、付箋を活用して意見を分類・整理しながらまとめたりすることで、話し合いがより深まると考える。

イ キャリア教育の視点

(ア) わたしたちの国土から工業生産へ

5年生の社会科ではこれまでに国土や、食糧生産について学習をしてきている。国土の地形の特色やそれにあつた工夫、農業や水産業で学習した運輸の方法などにも触れながら学習を進めていくことで、学びのつながりにも気付かせたい。本単元は、実際に社会で働く人々の工夫や努力について学習する単元である。そこで、キャリア教育を通して、育てる4つの基礎的・汎用的能力のうち「課題対応能力」の育成を意識した実践を行う。自動車工業に関わる人々のより多く自動車を生産・販売するための工夫や努力について、直接見学したり話を聞いたり様々な資料で調べたりすることで働くことの意義について考えることができるようにしたい。

(4) 単元の学習計画 (12 時間)

段階	学習活動	時	主な UD 支援
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族の自動車調べや自動車会社に関するデータなどを基に、なぜ日本の自動車は売れるのかについて予想を立てて話し合い、学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日本の自動車づくりに関わる人々は、自動車をたくさん生産、販売するためにどのような工夫や努力をしているか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供たちが、自動車会社の社員になって、「世の中みんなが喜ぶ自動車」の企画書をつくり提案することを知り、学習計画を立て、見通しをもつ。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が日本の自動車への魅力に気づくことができるように、日本の自動車会社の販売台数や売上金額などの資料を提示する。 ○ 児童が学習の見通しをもてるように、教師の考えた企画書を紹介したり、単元の学習計画を掲示したりする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車模型を組み立てる活動を通して、自動車をよりたくさん、速く組み立てる方法を考え、組み立て工場で働く人々の工夫や努力をまとめる。(2/2本時) ○ 自動車の各部品がどのようにつくられ、運ばれているのかを調べ、グループでワークシートにまとめながら話し合う。 ○ 自動車工場で見学したいこと、詳しく知りたいことを書き出し、工場見学の見通しをもつ。 ○ 自動車工場を見学し、組み立てるときの工夫を確認したり、工場以外での工夫を見付けたりする。(11/19) 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題に対する意識を高め学習のつながりをもたせるために、調べて分かった工夫や努力を単元を通して「日本車魅力シート」にまとめていくことを伝える。
深める	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車模型を組み立てる活動を通して、自動車をよりたくさん、速く組み立てる方法を考え、組み立て工場で働く人々の工夫や努力をまとめる。(2/2本時) ○ 自動車の各部品がどのようにつくられ、運ばれているのかを調べ、グループでワークシートにまとめながら話し合う。 ○ 自動車工場で見学したいこと、詳しく知りたいことを書き出し、工場見学の見通しをもつ。 ○ 自動車工場を見学し、組み立てるときの工夫を確認したり、工場以外での工夫を見付けたりする。(11/19) 	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車を組み立てるための工夫や努力について意見をもてるようにするために、ペーパークラフトで自動車を作製する活動を設定する。
		1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の意見と友達の意見を比べたりまとめたりして考えを深められるように、グループでの話し合いには付箋を使い、分類整理する。
		1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲をもって工場見学ができるように、事前に見学してきたいことを書き出す活動をする。
		2	

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 販売される自動車にかかる費用を知り、運ぶ手段は何を選択するかを討論し、販売に関わる人々の工夫や努力などをまとめる。 ○ 自動車の人や環境に与える影響を知り、開発者の工夫や思いを調べ、グループでワークシートにまとめながら話し合う。 ○ 社会の変化や環境への影響、消費者のニーズにはどのようなものがあるか、新聞や資料やアンケートを基に考える。 	1 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 終末の企画書づくりにつなげるために、家族や先生方にアンケートをとり、消費者のニーズについて知ることができるようにする。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「世の中のみんなが喜ぶ自動車」をテーマに社会の変化や環境に配慮したり、消費者のニーズに対応したりしている自動車の企画書をつくる。 ○ 考えた企画書を発表する。 	1 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画するときのヒントとなるように、第10時で出た現在の社会の様子や環境やニーズなどを提示し、自分が優先したいニーズを3つ選択させる。

5 本時の学習（4/12時）

(1) 本時の目標

ペーパークラフトを組み立てた感想をもとに、速く正確にたくさんの自動車を生産するためにはどのような工夫があるのか予想を立て、自動車の組み立て工場について調べたことと比較する活動を通して、組み立て工場働く人々の工夫や思いをワークシートにまとめることができる。

（思考・判断・表現）

(2) 学習の展開

学習活動	形態	・留意点 ①視点 ②ユニバーサル支援 ★個別支援 ③評価
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな作戦を立てるとより速く正確にたくさんのペーパークラフトを作れましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部品を使う順に並べておくと速く作ることができました。 ・ 役割分担をすると失敗が少なかったです。 ・ 指示書を机の真ん中に置くとみんなが見ることができました。 ○ 実際の車でも、みんなが立てた作戦を使って作っているのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>◎みんなが考えた作戦と自動車工場での工夫を比べよう。</p> </div>	全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に、ペーパークラフトを制限時間内にできるだけたくさん組み立てる活動を通して、より早く正確に作るための作戦を立てている。 ・ 前時に考えた作戦は、グループでまとめて、赤いカードに書き、ホワイトボードに貼っている。 ① 前時の活動を想起させるために、ペーパークラフトを組み立てている様子をテレビに映したり、作戦がまとめてあるホワイトボードを見せたりする。 ② 組み立て工場働く人々の工夫や努力を押しさえるために、児童が考えた作戦の中から、多かったものの中からいくつかを選び、調べるときのキーワードとして黒板に示す。 ③ 見通しをもって学習を進められるように、学習の流れや時間を示す。 ★ 事前に教科書や資料集にキーワードに関連した、組み立て工場働く人々の工夫や努力に印をつけておく。
<p>2 組み立て工場働く人々の工夫や努力を教科書や資料集で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 組み立て工場働く人々は、自動車を速く正確に作るためにどんな工夫をしているかな。 	個	

- ・ 部品を組み立てる順に並べる。
 - ・ 役割分担をしている。
 - ・ 指示書は自動車と一緒に流れる。
- 3 グループで調べて分かったことと作戦を比較する。
- 調べて分かったことをまとめて、自分たちが立てた作戦と比べてみよう。
 - ・ 部品を並べる作戦は同じだ。
 - ・ 自動車工場でも役割分担をしていて、流れ作業をしているね。
 - ・ たしかに自動車と一緒に指示書を流せばみんなが確認できるね。
- 4 比較して分かったことを発表する。
- グループでまとめたことを発表しよう。
 - ・ 自分たちも部品を並べる作戦は良いと思ったけど、自動車工場でも同じように工夫されていた。
 - ・ 自分たちも役割分担をして失敗を減らしたけど、自動車工場でも役割分担を取り入れていた。
 - ・ 私たちは指示書を机の真ん中に置けばみんなが見えると思ったけど、組み立て工場では自動車と一緒に流していた。
- 5 学習をまとめる。
- ワークシートに組み立て工場働く人々の工夫や努力をまとめよう。

⑨組み立て工場働く人々は、部品を順に並べたり、役割分担をしたりして、より速く正確に自動車を作るために工夫している。指示書を自動車と一緒に流すことは予想外で、良いと思った。

グ 榎 作戦と自動車工場での実際の工夫を比較しやすくするために、グループで共有できた調べて分かったことは、青いカードに書かいてホワイトボードの赤いカードと対応するように貼らせる。

全 毬 全体での意見を深められるように、意見がまとまったホワイトボードをテレビに映したり、本時の始めに示したキーワードと実際の工夫や努力が対応するように板書したりする。

- ・ 児童の作戦では出なかった工夫や努力は、全体交流の場で確実に押さえる。

個 ★ ワークシートにまとめを書けるように、穴埋め式のワークシートを用意する。

◎ ペーパークラフトを組み立てた感想をもとに、速く正確にたくさんの自動車を生産するためにはどのような工夫があるのか予想を立て、自動車の組み立て工場について調べたことと比較する活動を通して、組み立て工場働く人々の工夫や思いをワークシートにまとめることができる。
(思考・判断・表現：
付箋・発言・観察・ワークシート)